

講義コード	1120	科目区分	専門教育科目(社会福祉士関連科目)
(フリガナ)	シャカイフクシエンジョギジュツゲンバジッシュウシドウニ	(フリガナ)	ウメキ モトシ ヨコヤマ ジュンイチ
授業科目名	社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ(前半)	担当教員名	梅木 幹司 横山 順一
英文授業科目名	Guidance of Social work practicum Ⅱ		
基準年次(開講期)	4年次(通年)	履修形態	選択(社会福祉士受験資格取得必修科目)
曜日/時限/講義室	水曜日/3時限/311教室		
授業の方法	実習	授業の方法 (詳細情報)	講義、課外学習、主体的学習
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	個人情報、守秘義務、実習計画、個別支援計画、実習報告会		
授業概要・目的	「社会福祉援助技術現場実習指導Ⅱ」は、利用者理解を目的とした3年次後期の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」を踏まえ、4年次に行われる「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」での業務を中心に学習する実習の事前・事後指導を行う。実習の事前学習では、グループワークや個別指導を通じて実習分野や実習施設等について情報収集を行い、実習における各自の目標、計画について考察する。事後学習では、実習報告書を作成し、実習指導者を招いての実習報告会を行い、さらなる理解を深める。		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、実践的な技術を体得する。</li> <li>・社会福祉士が関わる分野における相談援助業務を理解して実践力を習得する。</li> </ul>		
授業計画			
第1回	オリエンテーション 実習と実習指導、個別指導と集団指導の意義等		
第2回	実習分野の理解① 実習先の施設・事業所・機関・団体等に関する理解		
第3回	実習分野の理解② 実習先の施設・事業所・機関・団体等に関する理解		
第4回	関連業務の理解 実習先の関連業務に関する基本的理解		
第5回	実習計画の概要 事前訪問及び実習計画の概要作成		
第6回	相談援助の知識・技術① 実習先で必要とされる相談援助の知識・技術の理解		
第7回	相談援助の知識・技術② 実習先で必要とされる相談援助の知識・技術の理解		
第8回	相談援助の知識・技術③ 実習先で必要とされる相談援助の知識・技術の理解		
第9回	個人情報等について① 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務等の理解		
第10回	個人情報等について② 実習における個人のプライバシー保護と守秘義務等の理解		
第11回	実習日誌① 実習日誌の記録内容、記録方法に関する理解		
第12回	実習日誌② 実習日誌の記録内容、記録方法に関する理解		
第13回	実習計画の作成① 実習指導者を含む協議による実習計画の作成		
第14回	実習計画の作成② 実習指導者を含む協議による実習計画の作成		
第15回	実習計画の作成③ 実習指導者を含む協議による実習計画の作成		
教科書・参考書等	「ソーシャルワークハンドブック」至誠館大学		
授業で使用する 機器等	毎回、資料を配付する。		
予習・復習への アドバイス	ソーシャルワークハンドブックは各自で熟読すること。社会福祉士倫理綱領について熟読し理解すること。実習Ⅰで使用した資料等を読み復習しておくこと。実習Ⅰでの課題を明確化しておくこと。		
履修上の注意・ 受講条件等	社会福祉士受験資格取得を希望する人は必ず履修してください。 先修要件科目のため、社会福祉援助技術現場実習Ⅰの単位不認定の者は履修はできません。		
成績評価の基準等	出席回数が2/3に満たない者は単位認定を行わない。また、社会福祉援助技術現場実習Ⅱを履修することはできない。 社会福祉援助技術現場実習Ⅱと連動して総合的に評価を行う。		
メッセージ	社会福祉援助技術現場実習Ⅱの事前・事後学習を目的とした科目であるため、積極的かつ真剣に授業に臨んでください。		
オフィス・アワー	発表掲示後は、気軽に訪問してください。		

その他	
-----	--